

「弁当の日」応援プロジェクト 派遣講師 (順不同)

竹下 和男 (たけした かずお) : 「弁当の日」提唱者 1949 年生まれ
小学校、中学校教員、教育行政職を経て 2000 年度より綾南町立滝宮小学校校長時代に弁当の日を始める。03 年度より国分寺町立国分寺中学校校長 08 年度より綾川町立綾上中学校校長 11 年度よりフリーで執筆・講演活動中

内田 美智子 (うちだ みちこ) : 助産師 1957 年生まれ
助産師として数多くの出産に立ち会う一方、思春期保健相談士として思春期の子どもたちの悩みも聞く。
「生」「性」「いのち」「食」をテーマに全国で講演活動を展開。

佐藤 弘 (さとう ひろし) : 西日本新聞社 企画開発部 記者 1961 年生まれ
西日本新聞の長期企画「食卓の向こう側」で弁当の日を取材、「弁当の日」の広がるきっかけをつくる。

安武 信吾 (やすたけ しんご) : 西日本新聞 編集委員 1963 年生まれ
88 年、西日本新聞社入社。久留米総局、出版部などを経て 2015 年 8 月より現職。乳がんで亡くなった妻千恵さん・娘のはなちゃんとのドキュメンタリー「はなちゃんのみそ汁」(文藝春秋刊)が映画化。ドキュメンタリー映画「弁当の日」(20 年秋公開予定) 監督。

比良松 道一 (ひらまつ みちかず) : 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授 1965 年生まれ
「弁当の日」を取り入れた体験型講義「いのちの授業」「自炊塾」で学内外の注目を集める。小中高校生の心に訴える授業にも定評がある。

稲益 義宏 (いなます よしひろ) : 福岡市立舞鶴中学校教諭 1966 年生まれ
担任 1 人でも始められるコース別弁当の日「イナマス方式」を实践。子どもたちが自分でできる食の実践力を高める学習を展開。2007 年度地域に根ざした食育コンクール入賞。

柴田 真佑 (しばた しんすけ) : 大分県佐伯市地域振興課食育推進・男女共同参画係総括主幹 1967 年生まれ
市の総合計画や地域振興や人材育成事業に取り組むとともに「食のまちづくり」に関して研鑽。現在は「食育推進・男女共同参画係」として活動する傍ら、全国各地で講演活動を行っている。

福田泰三 (ふくだ たいぞう) : 佐世保市立広田小学校 教諭 1967 年生まれ
子どもの「くらし環境」の重要性に気づき「食育」活動を实践。現在、南島原市立口之津小学校にて「弁当の日」「みそしるの日」「健口教育」などさまざまな活動を実践中。2008 年 文部科学大臣優秀教員表彰。

佐藤 剛史 (さとう ごうし) : 九州大学大学院農学研究院助教、農学博士 1973 年生まれ
九州大学で大学生による一品持ち寄り弁当の日を实践。笑いあり涙ありの感動講演。テーマは食育、婚学、人生学、自立学など。

渡邊 美穂 (わたなべ みほ) : フリーライター 1974 年生まれ

西日本新聞社記者として「食卓の向こう側」の取材を通じ、食の大切さを痛感。現在はフリーライターとして雑誌や書籍を執筆、講演活動も行っている。

平尾 文 (ひらお あや) : 広島都市学園大学 健康科学部 講師 1972 年生まれ

佐賀県西九州大学で授業前におにぎりと味噌汁を作って学生に提供し、その後学生たちと一品持ち寄り弁当を実施。学生たちの変化を通じ、食の重要性を実感。理学療法士・作業療法士を目指す学生たちにも伝えている。

船ヶ山 清史 (ふなやま きよふみ) : うどん茶房ふなや経営 1975 年生まれ

「ひろがれ弁当の日 in 宮崎〜輝く笑顔と団欒〜」実行委員長。学校を中心に講演、弁当の日が育む、子育ての素晴らしさ、子どもの成長の喜びを伝えている。

豊田 裕章 (とよだひろあき) : 豊田歯科医院院長 1957 年生まれ

食・健康・環境を学ぶ「おむすびの会」事務局担当など、歯科診療のかたわら関西エリアを中心に、子どもたちの未来を守る食生活についての講演活動を行っており講演の中で「弁当の日」を紹介し、実践を呼びかけ続けている。

渡邊 雅美(わたなべまさみ) : 岐阜県「弁当の日」応援団、こそだち発達研究所主宰 1977 年生まれ

2009 年弁当の日と出会い 10 年から講演会を企画開催。15 年より可児自炊塾（食育講座・料理塾）開催。現在は岐阜県内 3 カ所で食育こそだて講座を開催し、毎月 100 名ほどの生徒に食育、足育、子育てについて伝えている。

その他、「弁当の日」の実践者など全国各地に多数講師候補あり。